

任務を構成する事業評価

No.	30	担当課	子育て応援課
-----	----	-----	--------

1.任務目的

任務目的	安心して子どもを生み、育てていくことができる社会を実現するため、子育て支援施策を適正かつ着実に推進する
------	---

2.任務概要

任務概要	子育て支援を実施することで、次代を担う子ども達が健全に育ち、菊川に暮らし、子どもを産み育て、住み続ける魅力のあるまちを目指し、各種子育て支援業務について適正な処理を行う。
任務の総括	子育て支援を重点施策としている本市では、子育て支援の総合的な計画として令和元年度に策定した「第2期菊川市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、今後も引き続き各種事業を実施する。 児童手当、子ども医療費、児童扶養手当、母子家庭医療費等子育て対象世帯への経済的支援、ひとり親家庭に対する支援の充実を図っていく。 支援を必要とする子ども、家族に対しては、関係機関等と更なる連携強化を図り、要保護児童等の早期発見、適切な保護及び支援を今後も引き続きしていく。

3.任務目的を構成する事業

事業名(中分類)	安心安全の保育事業の推進	予算事業番号 (予算事業名)	3.2.1.103053(母子福祉費) 3.2.2.103057(児童手当給付費) 4.1.5.104011(子ども医療費)
事業(中分類)概要	児童手当、子ども医療費、児童扶養手当、母子家庭医療費等について、県等に対し、交付金等の申請を行っている。		
取組内容・結果等(D)	児童手当、子ども医療費、児童扶養手当、母子家庭医療費等について、適正な事務処理を行い、県等に対し、交付金等の申請を行った。		
課題・問題点等(C)	転入、転出等異動が多い時期には窓口での接客対応が多く、時期的に交付申請等事務処理と重複することからその対応に苦慮している。		
今後の方向性(A)	今後も引き続き、児童手当、子ども医療費、児童扶養手当、母子家庭医療費等について、適正な事務処理を行い、県等に対し、交付金等の申請を行っていく。		

事業名(中分類)	地域生活充実支援への取組み	予算事業番号 (予算事業名)	3.2.1.103053(母子福祉費) 3.2.2.103057(児童手当給付費) 4.1.5.104011(子ども医療費)
事業(中分類)概要	児童手当や子ども医療費助成など、子育て世帯への経済的支援を実施する。また、児童扶養手当や母子家庭医療費など、ひとり親家庭に対する経済的支援も併せて実施する。		
取組内容・結果等(D)	児童手当、子ども医療費助成等、子育て世帯への経済的支援を適正に実施した。また、児童扶養手当、母子家庭医療費等、ひとり親家庭に対する経済的支援についても適正に実施した。		
課題・問題点等(C)	児童手当、子ども医療費、児童扶養手当、母子家庭医療費等各種子育て支援業務について、業務の効率化を図るため、実施方法等の検証が必要である。		
今後の方向性(A)	・今後も引き続き、児童手当、子ども医療費、児童扶養手当、母子家庭医療費等について、子育て世帯への経済的支援、ひとり親家庭に対する経済的支援を適正に実施していく。 ・令和2年度の児童手当に係る現況届の集中受付事務について業務委託を行い、事務の効率化を図る。		

事業名(中分類)	支援を必要とする子どもや家庭への取組み	予算事業番号 (予算事業名)	3.2.1.103863(児童福祉総務費(子育て応援課)) 3.2.3.103857(家庭児童相談室総務費)
事業(中分類)概要	菊川市要保護児童対策地域協議会を設置し、要保護児童等の早期発見、適切な保護及び支援を図るために必要な情報交換や支援内容を協議し、関係機関との連携を図っている。		
取組内容・結果等(D)	要保護児童対策地域協議会要保護児童部会、乳幼児部会を毎月開催し、情報交換・情報共有することで関係者と連携強化を図った。さらに11月には関係機関職員を集め、児童虐待予防研修会を開催し、連携の在り方について学んだ。		
課題・問題点等(C)	「課題はあるが落ち着いているケース」から「緊急度の高いケース」まで、様々なケースが増加していることから、要保護児童部会、乳幼児部会において、個々のケースについて丁寧な協議が困難な状況である。		
今後の方向性(A)	今後も引き続き、要保護児童部会、乳幼児部会を毎月開催し、関係機関等との更なる連携強化を図っていくとともに、虐待予防研修会も年1回開催していく。 また、必要に応じて関係機関と連携して個別ケース会議を随時開催していく。		